

中学2年生が決意新たに

少年立春式



式に臨む生徒

第7回少年立春式が2月4日、斎藤町長ら関係者の出席を得てふるさと産業文化館で開かれ、中学2年生110人が成人への決意を新たにしました。

同式は、14歳を節目に少女が将来に臨んで志を立て、誇りと責任を自覚することが目的。石塚教育長は式辞で「夢と希望を持って何事にもチャレンジしてください」と激励。また、2年生代表の石川純也さんが謝辞で「地域社会に少しでも貢献できるよう、一人一人がしっかり考え責任を持って生きていきたい」と決意を述べました。



謝辞を述べる石川さん

タオルで健康体操

出前講座

教育委員会では2月28日、「タオルで健康体操」をテーマに西小学校新体育館で出前講座を開きました。講師に吉田洋子さん（館林市）を招き、身近なタオルを使って身体をほぐしながら、音楽にあわせて楽しく踊る健康体操を行い、訪れた18人はさわやかな汗を流しました。吉田さんは「簡単にできるのでやってみてください。5分でも毎日続けることが大切。特にお風呂上がりに効果があります」と話していました。



きれいな町づくり

子育て連道路清掃「空き缶拾い」



町子ども会育成会連絡協議会が主催する道路清掃「空き缶拾い」が2月13日、町内16団体の子ども会を中心に、各地区で行われました。この清掃は、町内の道路に落ちていた空き缶、ペットボトル、ビン、ごみ等を拾ってきれいな町づくりを行うことを目的に今回初めて各地区一斉に行われました。子どもたちは、数人のグループに分かれて歩き、ビニール袋を片手にごみを拾い集め、心地よい汗を流していました。